

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - ① 「県・市町村青少年相談担当職員研修会・東毛地区」映像配信中
 - ② 8/31まで「夜間中学」に関するアンケート調査
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
 - ① ひきこもり家族教室「関わり方の工夫
 - ② ひきこもり支援講演会「行動する家族、本人を育てる」
- 3) 民間活動団体等の紹介
 - ① (一般社団法人) 全国心臓病の子どもを守る会群馬県支部

1 「県・市町村青少年相談担当職員研修会・東毛地区」映像配信中

7月30日(木)太田市宝泉行政センターで開催した研修会の内容をYouTubeで映像配信しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、入場者数を大幅に削減した影響で多くの希望者の受付をお断りし、ご迷惑をおかけしました。

現在、研修会の内容を以下の4つに分けて映像で配信しています。希望者にはURLをお送りするので、下記までメールで連絡ください。

<映像配信の内容>

【ガイダンス】 約10分

NPO法人リンケージ理事長 臨床心理士 石川 京子氏

【基調講演】 各35分

- ①「専門医が語る 不登校・ひきこもり状態の理解と、その対応」
みどりクリニック院長 医学博士 鈴木 基司氏
- ②「伴走型支援の専門家が語る 不登校・ひきこもり支援の現場」
NPO法人カウンセリング&コミュニケーション・ミュー
(CCM)代表 山本 泉氏

【パネルディスカッション】 約80分

コーディネーター 臨床心理士 石川 京子氏
パネリスト
太田市立太田中学校 養護教諭 阿部恵美子氏
みどりクリニック院長 鈴木基司氏
NPO法人CCM代表 山本 泉氏

<申込み方法>

メールに氏名、所属名、研修会映像配信希望とお書きください。

メールの送付先

e-mail : kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

申込み期限は、8月31日(月)まで

なお、研修会参加者のアンケート結果も公表しているので、併せて

ご覧ください。

<https://www.pref.gunma.jp/03/bv0100038.html>

2 | 8/31まで 「夜間中学」に関するアンケート調査

県教委義務教育課では、夜間中学設置の必要性についてアンケート調査を実施しています。（注：調査期間は8月31日まで）

<夜間中学とは、昼間の中学校と同じ、公立の中学校です>

- ・さまざまな理由で義務教育を修了できなかった人
 - ・不登校のためにほとんど学校に通えなかった人
 - ・本国で義務教育を修了していない外国籍の人
- などが、学ぶことができます。

真に夜間中学を必要としている方々の声をできる限り聞きたいと考えて、紙面やURLによるアンケート、聞き取り調査等、様々な方法で調査を実施しています。

7月1日の調査開始以来多くの声をいただいておりますが、メルマガを御覧の方はもちろん、皆様の周りの方にも調査に御協力いただきたいと思っております。

下記URLによりアンケートフォームに入り、御回答ください。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=wZZdYR8j1UCy70ajwgvh8l_HYOBokeVIn--tuXkx4PRUMUREVEJQTzZQTEszSTFJODIFREpEVFBSWS4u

URLコードが長いのでそのまま利用してください
たくさんの方々の御意見をお待ちしております

<問い合わせ先>

県教委義務教育課 電話 027-226-4615

3 | 8/27 ひきこもり家族教室 「関わり方の工夫」

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に家族教室を開催します。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会にしませんか。家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなるという研究結果があります。

初めての方は個別の相談を受けた後、必要に応じて家族教室にご案内しています。

支援者の見学も受け入れています。希望される方は事前に連絡をお願いします。

【家族教室】

教室：8月27日（木）13:30～16:00

内容：ひきこもり家族教室「関わり方の工夫」

ワークを交えながら、家族自身の生活を豊かにするポイントについてみんなで学びます。

会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）
連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル 027-287-1121

4 9/20 ひきこもり支援講演会「行動する家族、本人を育てる」

ひきこもり経験者・家族が仲間とともに明るく前向きに歩き、学び・成長することを目的とする団体、KHJ群馬「はるかぜの会」では、精神科医師 浅見康隆先生をお招きして、ひきこもりの基本的な事柄やSSTを活用した具体的な関わり方などについて講演していただきます。

ひきこもりの状態を「ひきこもる」行動として捉え、「行動の変化をどう引き起こすか」と考えた時に、私たち家族のできることが見つかることでしょう。

SST（エスエスティー、社会生活技能訓練）を学び、その手がかりを探してみませんか。

【ひきこもり支援講演会】

日時：9月20日（日）13：30～16：30

会場：群馬県社会福祉総合センター 203会議室

題目：「個別支援のSST 第1回

—行動する家族、本人を育てる—」

講師：浅見康隆 先生

群馬大学健康支援総合センター 昭和事業場産業医

SST普及協会北関東支部長

（2010～2018年 群馬県こころの健康センター長）

対象：本人・経験者、家族、および関心のある方

〔申込み お問い合わせ〕

感染対策のため、事前申し込みをお願いいたします。

KHJ群馬はるかぜの会 TEL 090-2916-0346

harukazenokai.gunma@gmail.com

KHJ全国ひきこもり家族会連合会の詳細はHPをご覧ください。
<http://www.khj-h.com>

5 民間活動団体等の紹介 全国心臓病の子どもを守る会群馬県支部

子どもさん、又はあなたご自身が「心臓病」と医師から言われた時のショックは言葉では言い表せないものがあります。

目の前が真っ暗になったことを覚えています。

子どもが丈夫になれるか、毎日の生活をどう過ごしたらよいか、同じ病気で悩み苦しんでいる人はたくさんいると思います。みんなで手をつなぎ、励まし合って一緒に頑張りましょう。

病気についてもよく知ることが大切です。そのために守る会では毎月会報が発行されて、病気の説明、福祉制度、会員の方の体験談など読むことが出来ます。

重い症状の人でも頑張っ生きて生きようと病気と闘っていることを知り、とても励まされます。守る会は1963年に創立され、全国にたくさんの仲間がいます。大丈夫、一人ではない！一緒に喜んだり、涙したりしてくれる人、同じ思いをした人が、ここにいます。

病気とともに生きることは、命の喜び、小さな幸せにつながることであり、希望をもって、子育てを一緒に楽しんでいきましょう。

<群馬県支部の会報はこちらをご覧ください>
[http //www.heart-mamoru. jp/-category-20/](http://www.heart-mamoru.jp/-category-20/)

心臓病患者は、障害者として社会保障制度に依存するのではなく、自ら就労し納税を行うこと。その支援体制の確保を心友会（大人になった病児たち）では考えています。

また、結婚・妊娠・出産・育児についても早急な対応が求められています。心臓に疾患があるため母子ともに健康に出産できるかが問題です。成人先天性心疾患患者の出産については、群馬大学医学部の産婦人科と循環器内科が連携してサポート体制を整えてくれています。一般の妊婦の方が胎児診断でお子様に関心疾患の疑いがあった場合は、県立小児医療センター産科で、早期から対応を整えてくれています。

なお、全国組織のHPはこちらをご覧ください。
[http //www.heart-mamoru. jp/](http://www.heart-mamoru.jp/)



次号は、2020年9月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部
児童福祉・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-226-2393
- ▼ FAX 027-223-6526
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP <http://smilelife.pref.gunma.jp>